

大阪府立千里高等学校
令和元年度 第1回学校協議会 会議記録

○ 日時 令和元年7月11日(木) 16:00~17:00

○ 会場 校長室

○ 出席者

(学校協議会委員)

和田 良彦 大阪教育大学 副学長 教授

高木 学 江坂・起業家センター代表取締役

大森 万峰子 千里高校 学校薬剤師

小林 太郎 吹田市立竹見台中学校 校長

橋本 和正 後援会会長

(学校側)

校長 天野 誠 事務長 青枝 久仁子 首席 大西 千尋 進路指導部長 本間 直也

SSH 主担当 岩井 清 国際科学教育部長 渡邊 肇

(事務局)

教頭 山下 尚紀 教育情報部長 松井 活夫

○ 議事概要

(1)50期生の進路状況について

国公立合格者が2年連続減少。受験総数そのものも減少。私大受験生が増加。上位層に変化はないが中位層の引き上げが課題。安易に難易度の低い大学の推薦に流れないように注意が必要。

52期の学力の引き上げが必要。12月までに学力向上にむけた教員研修を4回実施予定。

(2)SGHおよびSSHの取り組み

◇ SGH事業

・探究の授業では1年次の末に個人と研究テーマを決め、春休みに関係書籍を読むなど予習をさせている。今年度は企業などの取材先を生徒自ら見つけ、アポイントをとらせる方向。また、探究のテーマと自らの進路選択が絡むように進めたい。

・SGH後は関西学院を基幹校としたワールドワイドラーニングコンソーシアム(WWL)の取り組みに加わり、AIを活用したオンライン講座を探究活動に取り入れる方向。

◇ SSH事業

・科学探究の授業ではテーマ設定を、SDGsを軸とした社会に還元できる課題として取り組ませる。

具体的には、ペットボトルの不使用、災害避難経路をAIを活用して知らせる、などの研究課題に取り組んでいる。

・今年度は国際シンポジウムを開催し、台湾の高校と合同発表を行う。またカンボジア・フランス・台湾・日本の高校生が社会の課題について意見交換をする場を設ける。

(3)令和2年度使用教科書選定作業について

教科書選定委員会を設け現在進めている。次回の学校協議会で一覧表を提示する。

4. 協議

<令和元年度学校経営計画について>

「グローバルな視点で思考、判断し、発信できる人材の育成」をめざす学校像とする。

取り組みとして

- ・ GCNJ（グローバルコンパクトネットワークジャパン）に加盟し、探究活動を企業と連携してすすめる。
- ・ 国際交流を両学科で一本化して実施、7月のアントレプレナーシップ研修では両学科の生徒が課題解決力の向上を目指して参加。
- ・ 人材バンクの設置を検討。探究活動・部活・学校運営で支援可能な卒業生・保護者を募る。
- ・ 教科間の連携を高めるため教科版千里マップを作成中。
- ・ 昨年行った授業研究を実施。授業におけるパフォーマンス評価の方法。
- ・ 広報活動のさらなる充実化のため HP の刷新を行う。